法音

今月のご法話

心を磨いて幸せの道を進みましょう

日蓮宗 法音寺

令和２年
8月号
No.610

知恩報恩

感謝と親切

今日一日、
受けた恩に感謝しましょう。
恩を忘れぬ人は信頼されます。
今日一日、
人に親切にしましょう。
人が喜び、自分もうれしい。
仏の教えは
知恩報恩の人となることです。

月刊・法音　令和２年８月号 No.610

目次

【信仰の指針】利他（りた）　真心をつくしましょう　1
【朝のこない夜はない】
心を磨いて幸せの道を進みましょう　山首　鈴木正修　2
◆講日のご案内　17
◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください　18
◆たくさんマスクをありがとう！　20
◆仏教まんが・お盆　21
◆お盆について　29
◆知っているようで知らなかった!?法音寺のこと⑧　34
◆お寺の本棚　38
◆のりのね体験　40
◆支院だより　44
◆福祉のひろば　55
○幸せのお手伝い　56
○昭徳会・乳児専用 駒方保育園分園が開園　58
○日本福祉大学・日本福祉大学付属クリニックさくらが９月に開院　60
◆賛助員ご芳名　62
◆幸せの種まき／編集後記　64
◆連載まんが・ひまわり・91　おじいさんとの約束　65
◆法音寺物語
◆法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針　山首上人さま 書
表紙写真・カサブランカ
掲載写真　表紙・信仰の指針・3～17頁：梅田雅臣氏撮影
2頁：加納将人氏撮影

信仰の指針

利他（りた）真心をつくしましょう

日教区



ディゴ



朝のこない夜はない

山首　鈴木正修

心を磨いて
幸せの道を進みましょう

昨今、「ステイホーム」という言葉をよく聞きます。新型コロナウイルスの感染予防策として自宅にこもることです。インターネットに「ステイホームの楽しみ方」として、世の中の人が自宅でどのように過しているのかが紹介されていました。一番多かったのは、「特に何もしない。ゆったりと休む」でした。次が「片づけ・断捨離」「料理やお菓子作り」などで、普段やりたくてもなかなかできないことでした。また、「映画やドラマを観る」「オンライン飲み会」というのもありました。多くの人が楽しんでいるのではないかと思っていた「読書」は少数派でした。



今回は「ステイホーム」向けにお薦めの本を2冊紹介したいと思います。稲盛和夫さんの『生き方』と『心』です。稲盛さんは京セラ・ＫＤＤＩを創業され、ＪＡＬ（日本航空）を倒産から再上場に導いた現代の経営の神さまです。

稲盛さんは65歳の時（平成9年）に臨済宗妙心寺派の円福寺で得度されています。法名は「大和」です。今回、紹介する2冊の本は両方ともサンマーク出版から出ています。サンマーク出版の編集長が、現代の経営の神さまが自らの心を磨くために仏門に入ることに対して興味を持ち、稲盛さんに執筆を依頼したのが『生き方』です。この本は２００４年に出版されたのですが、現在までずっとロングセラーを続けていて、１３４万部を超えているそうです。稲盛さんの実体験をもとに、いかに生きるかが語られている本ですが、内容はずばり稲盛哲学です。



「生まれたときより少しでも善き心、美しい心になって死んでいくこと。生と死のはざまで善き思い、善き行いに努め、怠らず人格の陶冶に励み、そのことによって生の起点よりも終点における魂の品格をわずかなりとも高めること。それ以外に、自然や宇宙が私たちに生を授けた目的はない。したがって、その大自然の前では、この世で築いた財産、名誉、地位などは、いかほどの意味もありません。いくら出世しようが、事業が成功しようが、一生かかっても使い切れないほどの富を築こうが、心を高めることの大切さに比せば、いっさいは塵芥のごとき些細なものでしかないのです」

（『生き方』より）

この本は日本で１３４万部以上売れていますが、中国では何と４００万部も売れているそうです。さらに驚くのは海賊版が２０００万部も売れていることです。夜になると



あちこちの露店で海賊版が売られているのです。つまり、中国では２４００万人以上の人が稲盛さんの『生き方』を読んでいるということになります。

稲盛さんが中国に講演に行かれると、どの会場も「稲盛さんの生の声を聴きたい」という人で超満員だったそうです。中国は孔子を生んだ国ですが、中国人の心の中には稲盛さんの考えに共鳴するものがあるのだと思います。

『生き方』が出版されてから五年後、次の本『心』の出版を自ら希望された稲盛さんに対し、編集長は大賛成したのですが、出版に到る前に一度中断しています。それは、経営の第一線から離れておられた稲盛さんが、経営破綻したＪＡＬを再生するために同社の会長に就任されたためです。

当時、世間では「ＪＡＬは必ず二次破綻するだろう。誰がやっても絶対に再生は無理だろう」と言われていました。



稲盛さんの周囲の人達も否定的に見ていたようです。

「ＪＡＬの再生がもし失敗したら、今まで稲盛さんが言ってこられたことや、教えてこられたことがすべて否定されてしまいますよ」

「晩節を汚すことになるからやめた方がいい」

それに対して稲森さんは言われました。

「ＪＡＬがなくなると、航空業界の大手は全日空だけになります。競争原理が働かなくなってしまうんです。それは日本国民のためになりません。何よりもこの仕事はＪＡＬの社員とその家族のためには意義のあることだと思います。そして誰もやりたがらない仕事だからこそ、やろうと決断したのです」

当時は民主党政権でした。ＪＡＬ再生を担当する国土交通大臣の前原誠司さんは京都選出の代議士で、稲盛さんと



は旧知の仲でした。前原さんは「この窮地に立って、お願いできるのは稲盛さんしかいないのです。お願いします」と劉備が諸葛孔明を三顧の礼をもって迎えたように、前原さんは稲盛さんのところに何度も通って頼まれたそうです。

稲盛さんは会長に就任するとすぐ、飛行機の尾翼に「JAL」とだけ書かれていたのを、昔の「鶴丸」に戻しました。「鶴丸」は日の丸と日本を代表する鳥である鶴をモチーフにしたものです。これこそがナショナル・フラッグ・キャリア（国家を代表する航空会社）JALだということで戻されたのだそうです。

稲盛さんは会長職を引き受ける際に一つだけ条件を出されました。それは「無報酬」です。そして、〝自分は素人だから航空業界のむずかしいことは何もわからない。自分にできることは社員の心を変えることだ〟と考え、最初に



取り組んだのがリーダーの心の教育でした。リーダーの人格を高める教育をされたのです。稲盛さんは常々言っておられます。

「会社というものはリーダーの人格以上のものにはならない。リーダーの器の大きさ以上にはならないのです。だからリーダーの心の器を大きくしないといけないのです」

稲盛さんは直接、ＪＡＬのリーダー達に語られました。

「常に明るく正直でなければならない」「常に謙虚さを忘れてはならない」「常に今あることに素直に感謝し、その思いを〝ありがとう〟という言葉や笑顔で周囲の人達に伝えなければいけない」「常に利他行を積み重ねていけば運命は必ず良き方向へ変わる」

誰もがよく知っていることです。人間としての基本です。

ＪＡＬの幹部社員も「そんなこと知っていますよ」と言っ



たそうです。また「まるで小学校の道徳の授業じゃないか」と反発する人もあったそうです。しかし、稲森さんは繰り返し、この法音寺の三徳の教えのような話をＪＡＬの幹部社員達に話されました。その内に〝自分達は人間として大切なことができていなかったから、こういう事態になったのだ〟という思いに到る人が増えて、段々と幹部社員が稲盛さんに心を開いていったといいます。

稲盛さんはお客さまと直接接する客室乗務員やパイロットの心のありようは、そのまま会社の行く末を担う大きな鍵を握っていると考え、客室乗務員やパイロットにも直接話をされました。

「お客さまに、〝またＪＡＬの飛行機に乗りたい〟と思ってもらえるように接してください。大切なのは皆さんの心です。おもてなしというのは心です。形ばかりのおもてなしではなく、お客さまに対する感謝や親切、優しさや思い



やりがこもってなくてはなりません。会社の再生はそこにかかっています」

「疾風に勁草を知る」（※）と言いますが、稲盛さんが会社の変化を実感されたのが、２０１１年の東日本大震災の時です。「勁草」となっていたＪＡＬは、瞬時に震災復興に向けて立ち上がったのです。

「ＪＡＬの総力を挙げて、東北に救援物資を送り続けよう」を合言葉に全社一丸となって、無傷の山形空港にＪＡＬの社員が全国から集結しました。受け入れ体制を整え、全路線を組み替え、山形空港に向けて臨時便を飛ばしに飛ばしたのです。その数、実に２７２３便、前年に経営破綻した会社とは思えない、それ以上に以前のＪＡＬでは考えられない迅速な動きでした。事例をいくつか紹介します。

当時、仙台空港が水に浸かり、陸の孤島と化していまし



た。ＪＡＬの飛行機も止まったままになりました。そこに地元の人達が避難をしてくると、何も指示がなかったのにＪＡＬの職員皆が地元の人々に食料や毛布を配りました。また、ある客室乗務員は機内に長時間閉じ込められた乗客のためにご飯を炊き、あたたかいおにぎりを握って配りました。日本赤十字社の救援スタッフが被災地に向かう時には、その人達を乗せた飛行機の機長が心あたたまる慰労のアナウンスをしました。そして、客室乗務員が労いと励ましのメッセージを書いて、救援スタッフの荷物の中にそっと差し入れたそうです。

　こんなこともあったそうです。高齢の婦人が「関西の家族のもとに帰りたいけど乗るはずの飛行機は飛ばないし、どうしていいかわからない」と困っていました。そこで非番だった職員が「私が一緒に行きましょう」と、帯同して



関西まで送り届けたといいます。

こうして稲盛さんによる心の改革がどんどん進んでいき、あっという間にＪＡＬは劇的なＶ字回復をし、二年半余りで再上場を果たしたのです。

稲盛さんはＪＡＬの立て直しが終わった後に『心』を再度執筆されますが、その時、「ＪＡＬ再生の中でつかんだ経営の極意のようなものについて書きたい」とサンマーク出版の編集長に伝えられたそうです。

『心』のプロローグには次のように書かれています。

「これまで歩んできた八十余年の人生を振り返るとき、そして半世紀を超える経営者としての歩みを思い返すとき、いま多くの人たちに伝え、残していきたいのは、おおむね一つのことしかありません。それは『心がすべてを決めて



いる』ということです。

なかでも人がもちうる、もっとも崇高で美しい心。それは、他者を思いやるやさしい心、ときに自らを犠牲にしても他のために尽くそうと願う心です。そんな心のありようを、仏教の言葉で『利他』といいます。

利他を動機として始めた行為は、そうでもないものより成功する確率が高く、ときに予想をはるかに超えためざましい成果を生み出してくれます。

事業を興すときでも、新しい仕事に携わるときでも、私は、それが人のためになるか、他を利するものであるかをまず考えます。そして、たしかに利他に基づいた『善なる動機』から発していると確信できたことは、かならずやよい結果へと導くことができたのです」

また別のところにはこう書かれています。



「人の心の奥には『魂』といわれているものがあり、そのさらに奥深く、核心ともいうべき部分には、『真我』というものがある。それはもっとも純粋で、もっとも美しい心の領域です。利他の心、やさしく美しい思いとは、この真我の働きによるものです。そしてその真我とは、万物を万物たらしめている『宇宙の心』とまったく同じものである、と私は考えています。つまり、人の心のもっとも深いところにある『真我』にまで到達すると、万物の根源ともいえる宇宙の心と同じところに行き着く。したがって、そこから発した『利他の心』は現実を変える力を有し、おのずとラッキーな出来事を呼び込み、成功へと導かれるのです。宇宙には、すべてのものを幸せに導き、とどまることなく成長発展させようとする意思が働いています」

「真我」とは「仏性」です。〝心を磨いていくと必ず仏性



が現れる〟ということです。そして「宇宙の心」とは「仏さまの心」です。私達が一生懸命にお題目を唱え、三徳を実行していくと、自然に心が磨かれ、さまざまな煩悩が取れて仏性が現れ、仏さまとつながるのです。そうなった時、願わずともすべての物事は良い方向に向かい、幸福・繁栄の道を進むことができるのです。

※疾風に勁草を知る
困難に直面したときに、はじめてその人の意思の強さや節操の堅固さがわかることのたとえ。



良い教えの話を聞きましょう。
全国の法音寺各支院・布教所で
三徳の教えを聞くことができます。
是非ご参詣いただき、
教えを心にしみ込ませましょう。

❖今月の山首上人さまご親修日程

西春支院	8月1日(土)	一宮支院	8月5日(水)
上野支院	8月10日(月)	静岡支院	8月12日(水)
岡山支院	8月15日(土)	京都支院	8月20日(木)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2－37－3	☎〈052〉581－2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎〈0587〉53－5436
東京支院	2日・15日・22日	東京都練馬区谷原2－6－37	☎〈03〉3904－1251
山形布教所	7日	山形市長町2－4－6	☎〈023〉681－0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4－7－3	☎〈0538〉32－6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1－26－3	☎〈0533〉86－4704
安城支院	9日・18日・28日	安城市新田町小山31－25	☎〈0566〉76－2504
明川支院	11日・22日	豊田市明川町堂ノ脇1－2	ご連絡は本山寺務局へ
佐屋支院	4日・9日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎〈0567〉32－1825
一宮支院	5日・25日	一宮市大江1－7－4	☎〈0586〉72－7208
西春支院	1日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎〈0568〉22－5813
岐阜支院	4日・12日・24日	岐阜市切通7－15－22	☎〈058〉245－2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎〈058〉388－2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎〈0584〉78－4854
関支院	3日・22日	関市西福野町2－15－11	☎〈0575〉22－0776
平賀支院	5日・25日	関市市平賀213－2	☎〈0575〉23－3771
郡上八幡支院	8日・22日	郡上市八幡町小野7211－3	☎〈0575〉65－3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2－4－7	☎〈059〉352－3633
上野支院	1日・10日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎〈0595〉21－0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎〈075〉231－3437
高槻支院	11日・21日	高槻市天神町1－9－2	☎〈072〉685－1003
大阪支院	9日・23日	大阪市此花区西九条3－4－41	☎〈06〉6465－5051
和泉支院	2日・11日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎〈0724〉66－3112
神戸支院	8日・21日	神戸市兵庫区五宮19－17	☎〈078〉360－4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎〈0799〉42－0175
岡山支院	2日・7日・15日	岡山市南区若葉町1－16	☎〈086〉262－0818
高知布教所	5日	高知市上町5－5－39	☎〈088〉823－1983
福山支院	1日・16日	福山市西町3－19－5	☎〈084〉921－3078
三原支院	10日・23日	三原市皆実2－9－22	☎〈0848〉62－5087
安芸津支院	1日・16日・23日	東広島市安芸津町三津3765－3	☎〈0846〉45－4012
坂　支院	10日	広島県安芸郡坂町坂東2－24－12	☎〈082〉885－1064
福岡支院	2日・15日・16日	福岡市早良区城西2－11－37	☎〈092〉821－7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎〈0920〉44－5445
筑後布教所	9日・23日	筑後市大字西牟田5954－1	☎〈0942〉53－7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和15021－1	☎〈0964〉58－0742
田川支院	2日・23日	田川市春日町7－30	☎〈0947〉42－1819
名古屋地区	2日・7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3－3	☎〈052〉831－7135
瀬戸布教所	9日・19日・29日	瀬戸市東本町2－20	☎〈0561〉85－6860
亀岡布教所	23日	亀岡市篠町篠牧田73－1	☎〈0771〉25－7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。（掲載順不同）

たくさんマスクをありがとう！

法音寺の信者さんが児童養護施設の子ども達に
手作りマスクを送ったところ
感謝のメッセージが届きました。



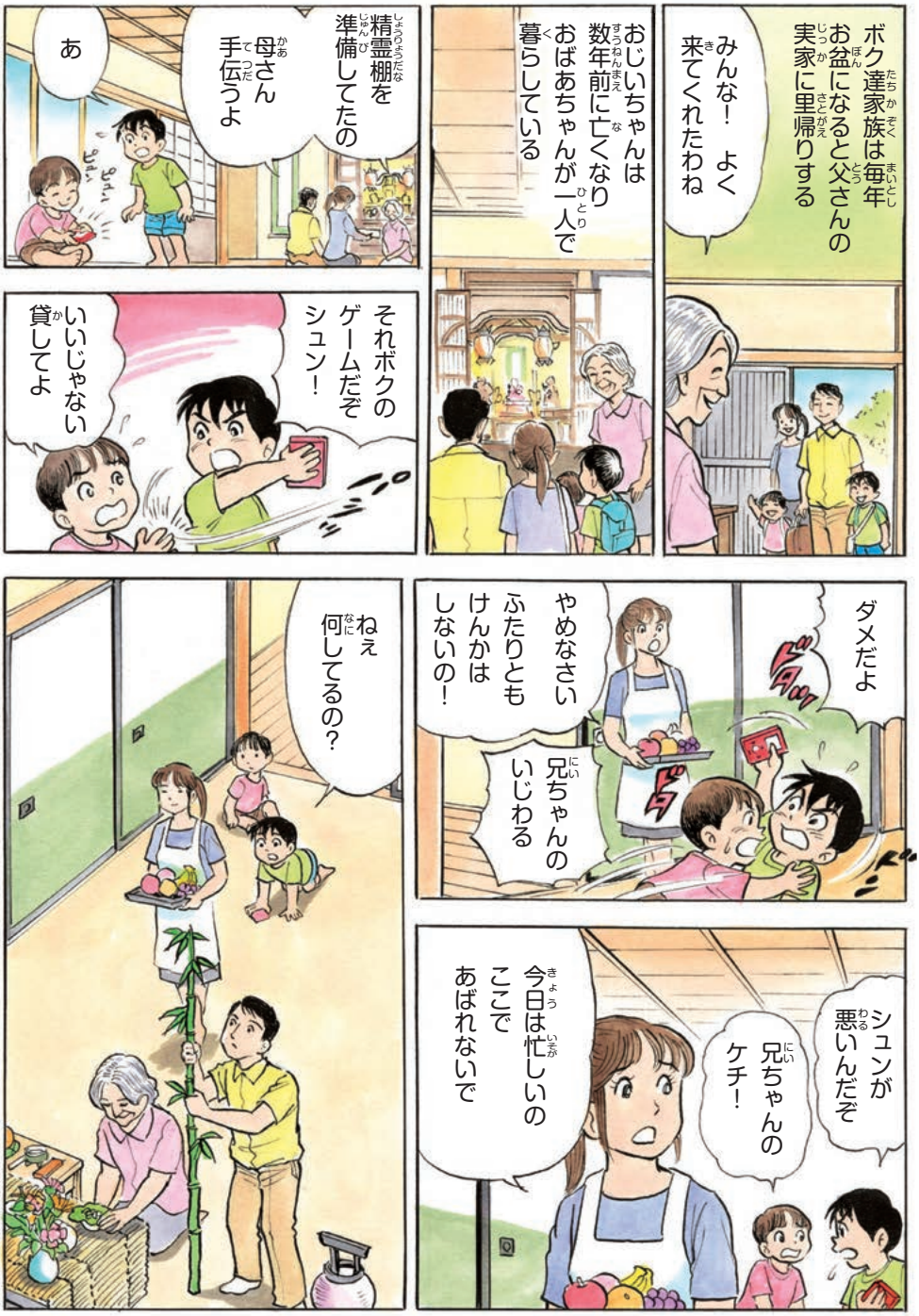









お盆
ボクとおじいちゃんの里帰り


ボク達家族は毎年
お盆になると父さんの
実家に里帰りする
みんな！　よく
来てくれたわね
おじいちゃんは
数年前に亡くなり
おばあちゃんが一人で
暮らしている
精霊棚を
準備してたの
母さん
手伝うよ
あ
それボクの
ゲームだぞ
シュン！
いいじゃない
貸してよ
ダメだよ
やめなさい
ふたりとも
けんかは
しないの！
兄ちゃんの
いじわる
シュンが
悪いんだぞ
兄ちゃんの
ケチ！
今日は忙しいの
ここで
あばれないで
ねぇ
何してるの？

ご先祖さまと
おじいちゃんを
お迎えする準備を
しているのよ

お盆は
亡くなった人が
家に帰ってくるの

そのために掃除をしたり
精霊棚を用意したり
お坊さんにお参りに
来てもらったりするのよ

精霊棚って
なぁに？

お仏壇とは別に
祭壇を用意して
そこにお位牌を
置いてお花や野菜
食べ物をお供え
するんだよ

いってみたら
お盆に里帰りしてきた
ご先祖さまに
ゆっくりしていただくための
接待所みたいなものよ

今作ってる
キュウリの馬や
ナスの牛も
お供えするんだよ

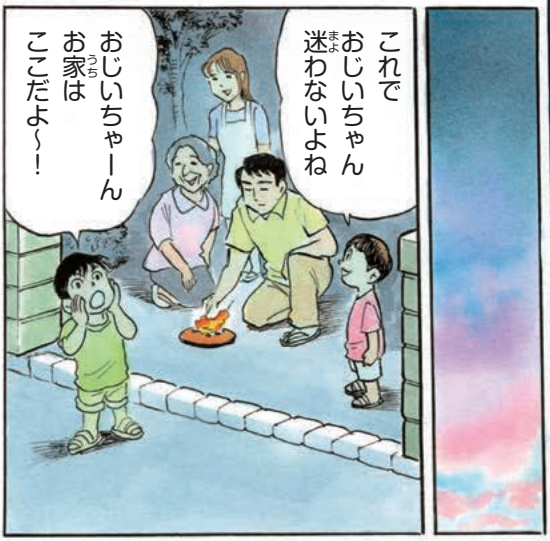
へえ ボクも
作りたい！
ボクも

夕方は玄関先で
迎え火を焚くからね

迎え火？


亡くなった
おじいちゃん達が
迷わずこの家に
帰ってこられるよう
火を焚くのよ
おじいちゃん
知ってるか？
シュンは小さかったから
おじいちゃんをおぼえて
いないでしょ この人よ
知ってるよ
蛍を見に
ボク達を
連れていって
くれたもん
へえ よーく
おぼえてたね
へへ…
それしか
おぼえて
ないけどね
そうだ
そうだった…
弟のシュンに
いわれるまで
ボクは忘れてた
おじいちゃんはよく
ボク達を近くの
川へ蛍を見に
連れていってくれた
んだった…


蛍はわたし達の
ご先祖さまだ
蛍になって会いに
来てくれたんだよ


これで
おじいちゃん
迷わないよね
おじいちゃーん
お家は
ここだよ～！


さあ
夕飯に
するわよ

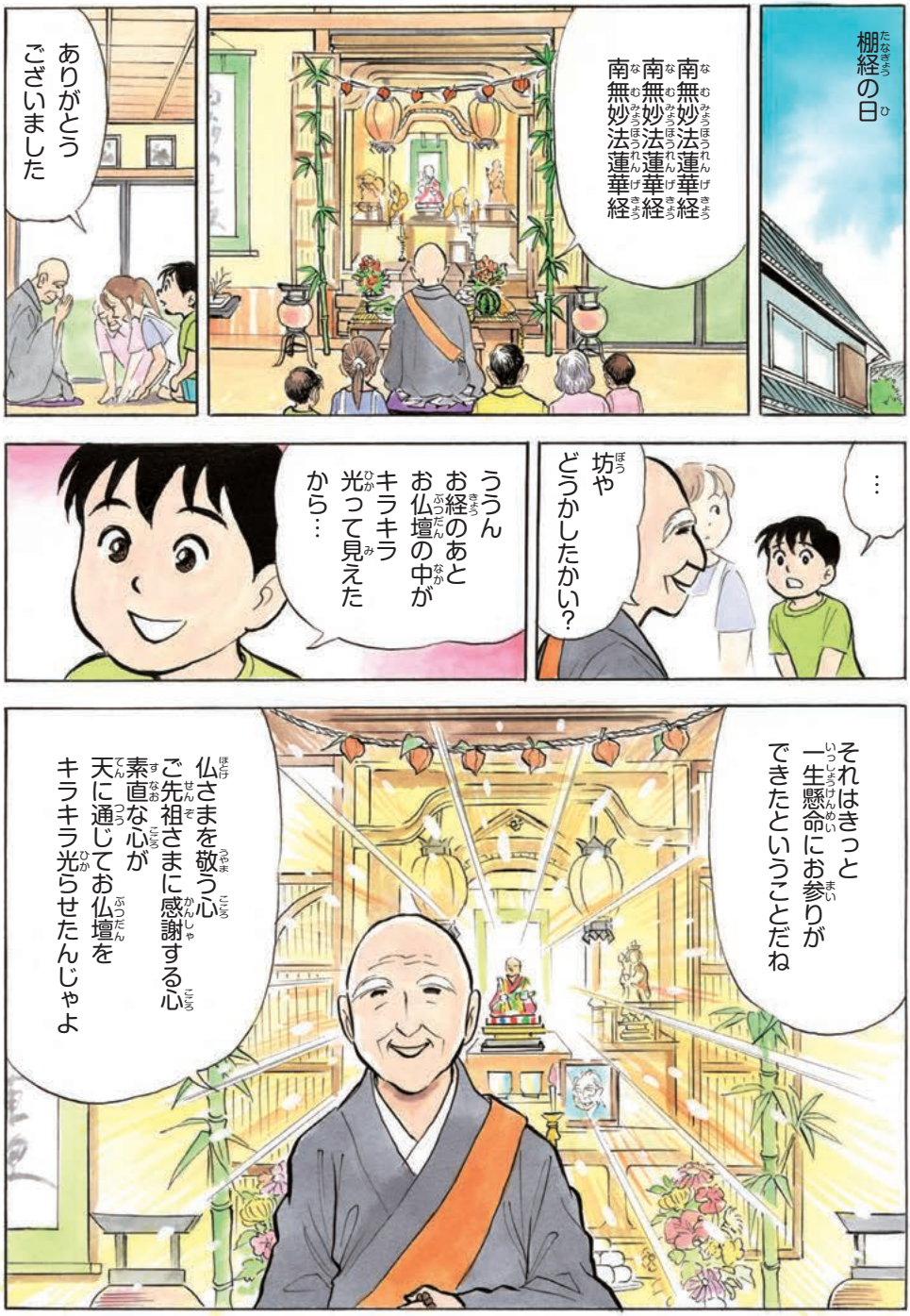


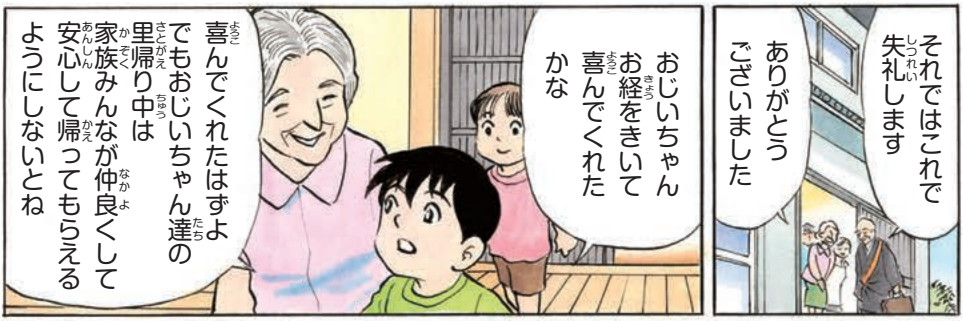

？


おい　リョウ
どうした？
うん
今　蛍が
とんでたような…


蛍か…
以前はたくさん
いたけどな
最近はあまり
見なくなったね

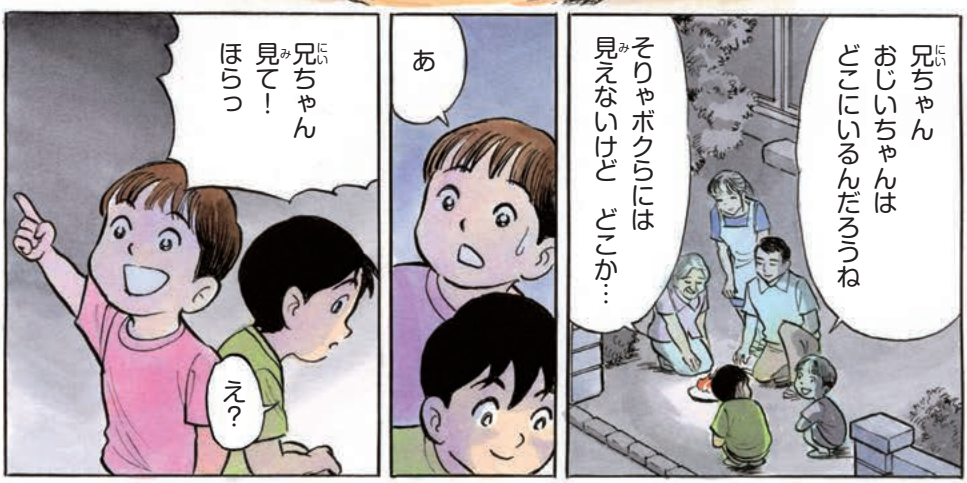



棚経の日
南無妙法蓮華経
南無妙法蓮華経
南無妙法蓮華経
ありがとう
ございました
…
坊や
どうかしたかい？
ううん
お経のあと
お仏壇の中が
キラキラ
光って見えた
から…
それはきっと
一生懸命にお参りが
できたということだね
仏さまを敬う心
ご先祖さまに感謝する心
素直な心が
天に通じてお仏壇を
キラキラ光らせたんじゃよ


それではこれで失礼します
ありがとうございました
おじいちゃんお経をきいて喜んでくれたかな
喜んでくれたはずよでもおじいちゃん達の里帰り中は家族みんなが仲良くして安心して帰ってもらえるようにしないとね


シュン ちょっと
なに?
おまえおじいちゃんに会いたいだろ?
うん
もう今日からケンカはやめような仲良くしてないとおじいちゃん心配しちゃうからな
そうだね
ボクのゲームで一緒に遊ぼうか
うん

送り火


兄ちゃんおじいちゃんはどこにいるんだろうね
そりゃボクらには見えないけど どこか…
あ
兄ちゃん見て!ほらっ
え?


兄ちゃん！　あれ
おじいちゃんだよね
おじいちゃん
蛍になって
会いに来て
くれてたんだ
おじいちゃん達は
また来年も
ボク達に会いに
来てくれるかなぁ
けんかしないで
家族みんなが仲良く
過ごしていれば
来年もきっとまた
会いに来てくれるよ

お盆について

【お盆の飾り】

最近では簡素化されることが多いですが、〝ご先祖さまを敬い、家に来ていただくための場所を設けること〟と考え、できる範囲で準備するとよいでしょう。

・精霊棚

お盆にご先祖さまの霊をお迎えするための特別な祭壇として、お位牌やお供えを飾った棚を**精霊棚**といいます。昔はどの家でも座敷に仏壇とは別に飾りました。最近では、仏壇の前に設けることも多くなりました。精霊棚は、12日もしくは13日の朝に作りますが、**新盆**（忌明けが過ぎてから初めてのお盆）の家では1日～7日までに作るとこ



ろが多くあります。

小机の上に真菰（まこも）や荒筵（あらむしろ）を敷き、お位牌を安置し、野菜や果物、お菓子など故人の好物をお供えします。その他、キュウリの馬やナスの牛、水の子、閼伽水（あかみず）を用意します。また、小机の四隅に笹竹を立て、上部を荒縄でつなぎ、ホオズキを吊るします。

・キュウリの馬、ナスの牛

キュウリやナスに割りばしや爪楊枝で足をつけ馬や牛に見立てたもの。ご先祖さまにキュウリの馬に乗り早く来ていただき、ナスの牛でゆっくり、お供え物をたくさん持ち帰っていただくためとも言われています。

・水の子

お米・キュウリ・ナス・蓮の葉を用いて作るお供



えです。まず皿の上に蓮の葉を置きます。お米を研ぎ、キュウリとナスをさいの目型に切り、蓮の葉の上に盛りつけたものを水にひたしたものです。水の子は、餓鬼に対する施食供養の意味があります。

・閼伽水（あかみず）

器の中に清浄な水を注いだもの。また、器に樒萩（みそはぎ）の花を数本乗せて飾ります。器に樒萩を添えておくのは、煩悩を鎮めるための灑水（しゃすい）供養の意味があります。

・笹竹とホオズキ

小机の四隅に立てた笹竹の上部を荒縄でつなぐのは、その中にご先祖さまをお迎えするための結界です。また、吊るしたホオズキはご先祖さまの霊の道案内をする灯明の代わりとなります。

・盆提灯

盆提灯は精霊棚や仏壇の前に飾ります。数に決まりはありませんので、部屋の大

きさに合わせて一つでも、一対でも、二対でもいいでしょう。

新盆の場合は、普通の絵柄の入った盆提灯のほかに新盆用の白提灯を飾ります。白提灯は初めて帰ってくるご先祖さまが迷わないための目印となります。白提灯を飾るのは新盆の時だけで、お盆が終わったら燃やして処分します。

【迎え火・送り火】

「迎え火」とはご先祖さまが戻ってくる時の目印にしてもらう灯りです。家の玄関で火を焚くことが一般的となっています。

「送り火」は、お盆の間に家で過ごしたご先祖さまに、迷わずお帰りいただくことを願う灯りです。

お盆の時期は地域によって異なり、それぞれの「盆入り」と「盆明け」の夕方に行います。関東地方などの一部地域は7月13日、全国的に



は8月13日が「盆入り」にあたり、この日に迎え火を行います。それに対して「盆明け」の送り火は7月16日、または8月16日に行います。最近ではマンションにお住まいの方が増え、火を焚くことがむずかしいケースも多くなってきました。そんな時は盆提灯が迎え火・送り火の代わりにご先祖さまを導く灯りとなります。



【棚経について】

お盆の時期に僧侶が檀信徒の家を訪問し、仏壇、精霊棚の前で読経をすることをいいます。棚経の棚は精霊棚のことを指します。

特に新盆の場合、親族も一緒に手厚くご供養をします。

知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと⑧

～関東大震災②～

大正12年9月1日、午前11時58分、マグニチュード7・9、震度6の激震が関東地方を襲いました。揺れ動く大地に翻弄され、気づくとあたりは瓦礫の山になっていました。揺れが収まると、各所から上がった火の手が次々に町を焼き尽くしていき、東京と神奈川県はほぼ壊滅状態になりました。

中でも一番悲惨だったのが、本所横網町の陸軍被服廠跡でした。命からがら崩れ落ちた家の下から這い出した人々が、家財道具や寝具を手にその広大な空き地に避難してきました。その道具類に火がついたのです。あたりは酸欠状態となり、人々は折り重なって倒れ、逃げ

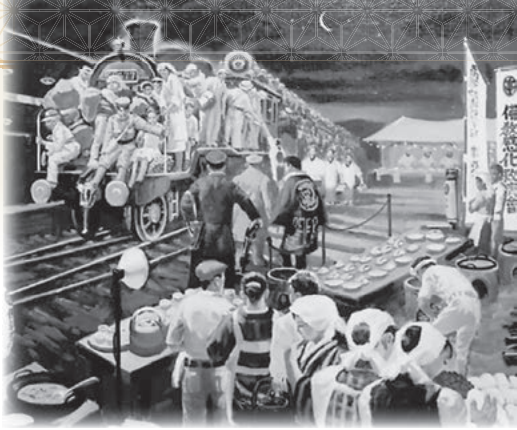


場を失った人々は紅蓮の炎に包まれ、まさに地獄絵さながらの状況の中、3万8千人が命を落としたのです。

どの避難所も傷ついた人々でごった返していました。離れ離れになった肉親を探す悲痛な叫びが後を断ちませんでした。〝こんな恐ろしいところにはもう住めない…〟と、着の身着のまま町を離れようとする人の列が途切れずに続いていました。



仏教感化救済会では、たつ（杉山辰子先生）の陣頭指揮のもと、素早く救済活動を開始しました。鉄道より先に船が動くことを知ると、名古屋港から東京芝浦港に向けて出る船に数々の救援物資を積み込みました。また、名古屋駅に入ってくる列車は、東京方面から避難して故郷に向かう人々でいっぱいで、どの列車も屋根の上まで鈴なりでした。



仏教感化救済会では、総動員でできる限りの握り飯をつくり、それを箱に詰め、大八車に積み上げると、子どもから病気治療のために本部に住み込んでいた人までが手伝って車を押し、名古屋駅に駆けつけました。駅のホームに列車が入ってくると、みんなで手分けして握り飯を配りました。来る日も来る日もこんな行為が繰り返されたのです。

駅の構内にテントを張り、罹災民救済所を設置して、炊き出しを二カ月あまり続けたのです。また、本所横網町の陸軍被服廠跡にも白米数十俵と衣類などをもって出張し、罹災民の救済にあたりました。

混乱のうちにも大正13年が明け、被災地の焼け跡のあちこちから復興の槌音が聞かれるようになり、大震災の痛手から人々は懸命に立ち上がろうとしていました。前もって予見しながら大難を未然に防ぐことができなか





った無念さは、たつをしてさらなる布教活動に駆り立てていきました。

今までの私の宣布活動はまだまだ消極的だった。法華経の効用をもっとわかりやすく、一般大衆にあまねく開示するよう心血を注がなくてはいけない…。

寒風が吹き抜ける1月、東京で最も被害の大きかった浅草の街角に『世界の鏡』という本を手にした3人の女性の姿がありました。

「この本をお読みください。病気や恐ろしい災難から逃れる方法が書いてあります」

この街頭宣伝は、東京ばかりではなく全国で行われました。このようにしてまかれた妙法の種は、実を結び、やがてすばらしい縁を運んでくることになるのでした。

参考文献



『安立行』(下)

お寺の本棚

『観音経偈文のおはなし』

聞名及見身　心念不空過　能滅諸有苦
（もんみょうぎっけんしん　しんねんふくうか　のうめっしょうく）

この偈文を説明いたしましょう。

「聞名」というのは、名を聞くと読むのですが、名とは教えのことでありまして、観音経のことです。〝仏さまの尊い教えを聞いて〟ということです。

「見身」は、お姿を見ることです。仏さま、観世音菩薩の御姿を見た時の感じのことです。殊に観世音菩薩は、世の中の母親のような大慈愛心の菩薩さまでありまして、尊敬の的であります。仏弟子として世の人を愛し、尊ばれる人であります。これを私達は考えまして、

「心念」心に念じて、即ち尊い人と生まれて、生き甲斐ある一生を送るためには、世の人々を仏としての尊い生活に導き、善根を植え、善き種をまくことこそ大切であると心に念ずるのであります。

「不空過」は〝一日も空しく無駄な日を過ごさないように、努力して進みましょう〟というのです。そうして進めば、



「能滅諸有苦」で、人間の生活の中には、いろいろな苦しみ悩みがありますが、仏の教えの大いなる慈悲心を実行して、世の中の人々を喜ばせていき、良いことをほめ、良い行いを進めて自分の大いなる喜びとしていきますならば、精神的にも心が救われて楽しい生活ができるのであります。

病気の人を救済するには、医者となって病を治し、学問を望む者には教師となって教え導き、子どもを育てるには親となって育て、盗難を防ぐためには警察官となって護り、火災を防ぐには消防士となって働くなど、観世音菩薩の働きはいろいろありまして、世の中の人々の苦しみ・悩みを救い、苦しみを除く働きをしていくのであります。

観世音菩薩の字義を申してみましょう。観世音とは、世の中の人々の音声、即ち〝幸福に暮らしたい〟〝幸せに進みたい〟〝今のこの悩みから救われたい〟という訴えを聞いて、ちょうど合う適当な仏の教えによって救済し、喜びと感謝を与える大菩薩ということです。

もう一度以上のことをまとめながら考えてみましょう。仏の教えを聞き、尊い御姿を見まして、自分も尊い仏の身となるように、菩薩としての行いを実行することを堅く決心し、今日も善い行いを励み、一日も無駄に暮らすことのないように進めて、そうして人間としてのいろいろな苦しみ・悩みを遂に解決し、愉快な生活の毎日を送ることができるようにお互いに努力していこうではないか、ということであります。

『血脈相承』は御開山奉山院日進上人の御遺稿です。この本を、もっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

福祉のひろば

SINCE 1912
SHOTOKUKAI

NIHON FUKUSHI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION



幸せのお手伝い

～食事は心をはぐくむことのできる場～

利用者さんに教えてもらった感謝の言葉の大切さ

入職して間もない頃の私は、調理師としての経験も浅く技能も未熟で、先輩方に補助していただかないと作業が進まないような毎日でした。

そんなある日の出来事で、今でも忘れられない思い出があります。

その日、私が担当したのは八宝菜でした。本来は一人で作り上げなくてはならないのですが、当時の私は一人で仕上げるだけの力がなかったため、先輩の助けを借りて、やっと完成させて提供することができました。



ご利用者の皆さんは給食を食べ終わっても、下膳口に来て無言で食器やお盆を返却されるだけですが、一人の女性が、食堂に向かって開かれた厨房のカウンターから、厨房の中にいる私に向かっ

て会釈をされ、はっきりとした口調で「ごちそうさまでした」と言ってくださいました。

その方は普段は自分の世界にこもっていて、他人に対して自ら関わりを持とうとすることも少なく、そのような発言をされることは滅多にない方です。

当時の私はまだ、ご利用者一人ひとりの個性も理解しておらず、その方が厨房のカウンターに「ごちそうさまでした」と伝えにこられたことに対して特段驚くこともなかったのですが、その方をよく知る先輩方は、一様に目を丸くして驚いていました。

私達の作った食事の何かが、その方の心に響いたようです。そのような食事を提供できて、本当にうれしかったのと同時に充実感に満たされ、感謝の念も湧いてきました。

ご利用者の方からいただいた「ごちそうさまでした」という言葉によって、〝私もこれからは、きちんと言葉にして相手に感謝の気持ちを伝えていこう〟と思う機会となった出来事でした。

障がい者支援施設　泰山寮　調理員　江島　友道



乳児専用 駒方保育園分園が開園



写真提供・昭徳会

駒方保育園分園
～地域に愛される保育園をめざして～

令和２年４月１日、駒方保育園分園が開園しました。０歳児～２歳児までの乳児専用の保育園です。

共働き家庭の増加とともに、保育園への入園希望者も増えている現在、名古屋市では保育園に入園できない待機児童がまだまだ多い状況です。この待機児童対策として、新たな保育園や分園、小規模保育事業所の整備が進められています。その中で、〝昭徳会は保育園運営の長い歴史と経験を活かし、地域の保護者ならびに子ども達のために役に立ちたい〟と、特に待機児童数の多い０歳から２歳までの乳児を対象とした園を開くことにしました。

駒方保育園分園は、名古屋市の「賃貸物件を活用した保育所整備」に応募し、以前は飲食店だった場所をお借りして改修工事を行い、完成しました。小さな子ども達が、安心して日中を過ごすことができるような明るく優しい雰囲気の保育園です。

０歳児～２歳児まで、18名の子ども達が、毎日、お父さんやお母さんと一緒に登園してきます。４月の入園当初は、別れるのが寂しくて泣いてしまった子もいますが、今では元気に「行ってらっしゃい！」

と笑顔で手を振って見送ることもでき、すぐに友達や先生と一緒に遊び始めます。保育園では、子ども一人ひとりの個性を認めながら、それぞれの発達や成長に合わせ、細やかな援助と支援をしています。また、家庭とは違う異年齢の子ども達との生活や、集団だからこそできる遊びなど、乳児期にふさわしい体験が得られるよう遊びを通した総合的な保育を進めています。

午前中は室内で、ままごとやおもちゃ、風船を使って遊んだり、みんなで絵本を読んだり、歌を歌って過ごします。また、敷地内の芝生をひいた小さな園庭で遊んだり、天気の良い日は、園のすぐ近くにある公園へ歩いて散歩に出かけます。公園では滑り台で遊んだり、花や草を見て虫を探したり、自然にふれる体験もたくさんできます。ダンゴムシを見つけては、手のひらに乗せて、もぞもぞと動く様子に喜ぶ子ども達です。ダンゴムシが丸くなると、突いて「起きてー」と呼ぶ可愛らしい姿も見られます。たっぷりと遊んだ後は、楽しい給食。友達と机を囲んで食べますが、苦手な野菜もみんなで食べるとおいしく食べることができます。その後、昼寝をしておやつを食べ終えると、仕事を終えた保護者の方がお迎えに来て降園となります。お迎えの際も、今日一日の様子を伝えて情報共有をし、保護者の方と子どもの成長をともに喜び合っています。初めての子育てで、不安を抱える方にも保育の専門性を活かして対応し、安心して、楽しく子育てができるよう支援しています。





子どもの大切な命を預かる私達の使命を忘れず、これからも地域の中で、地域に愛され続ける保育園をめざしていきたいと思います。

駒方保育園　園長　田中　美枝子

日本福祉大学付属クリニックさくらが9月に開院します

～日本福祉大学～



写真提供・日本福祉大学

日本福祉大学付属クリニック さくら
CLINIC SAKURA

学校法人日本福祉大学の付属医療機関として、クリニックさくらを設置することについて、6月に文部科学省より認可を受けました。

『さくら』の前身にあたるのは、2009年に開設した「ことばと聴こえの支援室　さくら」です。

日本福祉大学中央福祉専門学校言語聴覚士科に併設され、主に「ことばが遅い」「発音がはっきりしない」「聴こえにくい」などの問題を抱える子ども達とそのご家族の支援にあたってきました。また、病気や事故の後遺症で、ことばが不自由な方々の支援も行ってきました。

十年にわたって多くの方々にご利用いただき、支えられてきた実績をもとに、このたび耳鼻咽喉科とリハビリテーション科（言語聴覚療法）を備えたクリニックとして開院することになりました。院長には、藤田医科大学との連携のもと、研究と臨床の両面で優れた

実績を持つ耳鼻咽喉科医の竹内健二先生にご就任いただきます。

耳鼻咽喉科では耳・鼻・喉の一般的な疾患に加え、乳幼児・小児の聴こえとことばの遅れの診療を行います。新生児聴覚スクリーニング後の精密検査・補聴器外来・人工内耳の調整も実施します。また、めまい・いびき・睡眠時の無呼吸等についても診察します。

リハビリテーション科（言語聴覚療法）では、言語聴覚訓練を必要とする方に対し、年齢や障がい程度・領域を問わず、幅広く訓練を実施します。こちらは引き続き日本福祉大学中央福祉専門学校言語聴覚士科の先生方と連携していきます。

場所は、専門学校からも近く、ＪＲ・地下鉄「鶴舞」駅より徒歩約8分のところです。1階はクリニックモール、2階から11階は住宅型有料老人ホームになっています。

法音寺より岩田上人をご導師に迎え、安全祈願祭が執り行われました。挨拶にたった丸山悟理事長は、「クリニックの開院は、本法人に学校教育と並ぶもう一つの柱ができたことを意味します」と本事業の位置づけについてふれ、今後について次のように述べました。

「耳鼻咽喉科一般診療と言語聴覚訓練が融合することにより、より高い専門性が求められる領域の医療が、一般診療のクリニックという地域の方々にとって親しみやすい場で受けられるようになることが、大きな特長です。地域の方々に愛され、なくてはならない存在として何としても大きく成長させたい。建学の精神にある『大慈悲心、大友愛心を身に負う』た医療事業を大きく花咲かせていきたいと思っています」

現在、9月初旬開院に向けて、急ピッチで準備を進めています。学校法人付属の医療機関として、その重責を自覚し、医療スタッフの研鑽を怠らず、優れた医療の提供に努めるとともに、患者さまとそのご家族に寄り添い、地域に信頼され、親しまれるクリニックをめざしていきたいとスタッフ一同願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉総合研修センター事務室　清水　淳

※日本福祉大学付属クリニックさくらの詳細については
https://www.n-fukushi.ac.jp/clinic-sakura/をご覧ください。

幸せの種まき＝感謝と親切

心の平穏を養うため
仏さまの教えに耳を傾けましょう

人の行く手は平穏な日ばかりではありません。
それゆえ何があってもゆるがない道を
掴まなければなりません。

大乗山　法音寺

編集後記

今月の支院だよりでは、二カ月ぶりに活動を再開した各地の喜びの様子が報告されました。「皆さんの元気なお顔を見ることができてうれしかった」「やっぱりご法話を聞かないと心が締まらない」「今まで普通にお参りできていたことは、あたりまえではなく、ありがたいことだったんだ」…。

テレビをつければ新型コロナ関連の不安なニュースばかり。ある信者さんは自宅で心細く過ごしていたところ、山首上人さまから突然の御手紙と御守が届き、〝山首上人さまが守ってくださる〟と、涙を流して受け取られたのだとか。

また、本山の唱題行動画（鈴木廣修上人による編集）も、あっという間に再生回数が５０００回を超えました。

「午後2時になると、動画を再生しながらお仏壇の前で一緒にお題目を唱えています」「〝法音寺は僧侶も檀信徒も、みんなが家族〟というメッセージに深く感動しました」等。

そういう声を耳にするたびに、法音寺はみんなにとって常に心の支えであり、拠り所なのだと思わされました。

ひまわり #91

おじいさんとの約束

竹中 淳




うまいもん
じゃなぁ
カリ
カリ
え？
キミはいつも
ここで絵を
描いとるね
わしゃいつも
あの赤い家の
窓から見ておった
う～ん　この犬は
今にも走りそうだ
うまく描いたな
見てこれ
ボクだよ
キミら二人は
親友なんだろ
うん
そうだけど
なんで
わかるの？
ほう よ～く
似とるな
そっくりじゃ
そりゃわかるさ
描いた人の気持ちが
絵からあふれとる
からな

楽しい絵をありがとう
また見せておくれ

それからおじいさんは
毎日のようにやってきた

これ使いかけだけど
これに描いてみないか？
いつでも絵が描けるゾ

うわぁ
スケッチブックだ

わしら友達だ
遠慮するな

ホント？
いいの
ボクこんなの
欲しかったんだ

それからボクは
描いた絵を
見せにいくようになり

あまりうまく
描けなかったよ

真心を込めて
一生懸命に
描けば
大丈夫さ

おじいさんも
喜んでくれた

これに色をつけてみたらどうじゃ
よし今度絵具をもってきてやろう

じゃあな

模型 ゲーム


次世代ゲーム
NEW
¥19800
蓮 ゲーム機 買うのか？
高いもん 買えるわけ ないだろ
ジョバンニを 見てくすっと わらいました。
はいよく できました
蓮くん つづき読んで
蓮！
ずいぶん 熱心な こと！
今は図工の 時間じゃ ないのよ
あ ひろみちゃん!?
似てる！
そっくり じゃん
おおっ そっくり！
見せてよ
うわぁ 似てるぅ
私も 描いてよ
たしかに よく描けてるわね


4-3
かわいく描いてよ
次は私ね
ピピピ
どう？
うわ～いありがとう
ねえねえどう？似てるわ私はどう？
なあ蓮くん！
なに？
ありがとう
ゲームやらせてやるからさボクらの絵も描いてくれよ
ホント？
オレも頼むよ
スケッチブック持ってきたよね
あれ？蓮…
毎日のように公園に行ってたのにどうしちゃったんだ


おじいさん！
おおキミか
久しぶり
蓮なら友達と
遊びに行ったから
今日は来ないよ
そうか…
お父さん暑いから
家へ帰りましょ
ありがとうな
蓮くん！
蓮くん
これ使って
いいよ
よし
一緒に
やろうぜ
そして一週間
さらに
一週間
蓮くん
おじいさん
だれ？
先に行ってる
からな

なかなか
会えず
渡せなかったよ
約束した
絵具だ

また楽しい絵を
見せておくれ

わかった
今度の日曜
描いた絵を
持ってくるよ
待ってて！

早く
おい！！
こいよ～

楽しみに
してるよ

日曜日

その日もボクは友達と
ゲームに夢中に
なっている間

おじいさんは
朝からずっと
ボクを待っていたらしい

お父さん！

ボクはすっかり
約束を忘れていた

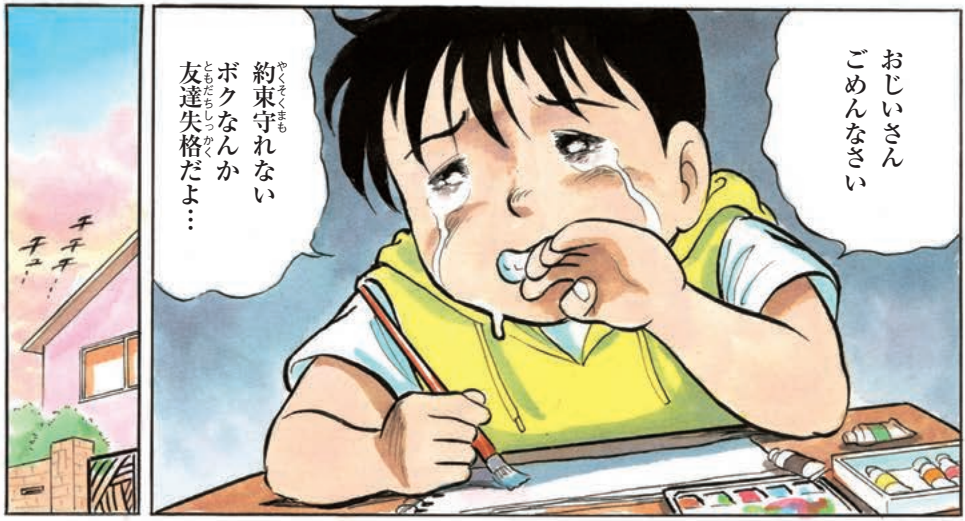
この炎天下
朝から？

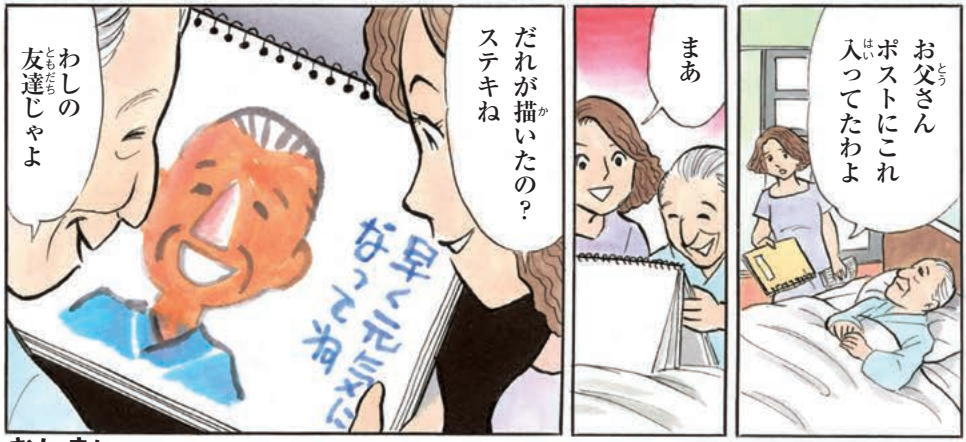
友達を
待ってたん
だって…

救急車を
呼びましょう
か？

大丈夫です
ので…
ご心配おかけ
しました


おじいさん
気分が悪くなっただけで
大丈夫だから
心配しないでってさ
帰ってくるなり
部屋にとじこもって
でてこないのよ


おじいさん
ごめんなさい
約束守れない
ボクなんか
友達失格だよ…
チチチ…


お父さん
ポストにこれ
入ってたわよ
まあ
だれが描いたの？
ステキね
わしの
友達じゃよ

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がいました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後（昭和22年）のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





知恩報恩

「ありがとう」と言う私から
「ありがとう」と言われる私に

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乗山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日
毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。

毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。

YouTube にて
法音寺チャンネル
開設中!!
https://www.youtube.com/user/houonjimovie

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。

詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺 検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保 育 所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部
〒466-0832 愛知県名古屋市昭和区駒方町4-10
TEL(052)831-5171
http://www.syoutokukai.or.jp

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部
〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL(0569)87-2211
https://www.n-fukushi.ac.jp

法音・令和2年8月号・No.610・令和2年8月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社